

米倉スタディ&トーク

リサーチ報告&トークセッション

文化をたがやす 地域をひらく

地域のコミュニティ活動と、アートなどの異なる文化が交わる時、
そこに何が生まれるか？
さまざまな視点から考えるトークイベントです。
ローカルをフィールドに実践を続ける地元・県内・県外のゲストとともに、
アートが地域社会に何をもたらすのか、その可能性について考えます。

2025年
10月25日(土)
14:00-16:10

※終了後に交流会あり (参加費1,000円・別会場)

会場：新発田市米倉の古民家

集合場所：有機の里交流センター

参加費無料
事前申込制

定員15名 (先着順)

ゲストスピーカー

ダムを奏でる会 若月 学

Experimental Rooms 星野 真人

Center / Alternative Space and Hostel 河野 円・田巻 真寛

主催：新発田市地域おこし協力隊 協力：コドモバ、米倉地区集落支援員、有機の里交流センター

新潟県新発田市の中でも米倉はコミュニティ活動に熱心な地域です。祭り、盆踊り、太鼓などの行事は農村文化や育成が起点となっており、形を変えながらも継承されています。交流センターや農園などの施設もそれらの活動を後押しし、地域内外に様々なつながりを生み出してきました。

昨今は農家も子どもも減少し、従来の仕組みによる集落の維持が難しくなりました。そんな時代だからこそ、人のつながりを大切に生きていくことについて考えてみたいと思います。アートなどの文化活動をきっかけに生まれる共創や協働は、住民だけにとどまらず私たちが現代を生きるための力になるはずです。

このイベントでは、地方のフィールドでオルタナティブな活動を続ける3組のゲストとともに、ローカルでのアートの実践について考えます。内の倉ダムコンサートを企画運営する地元の団体「ダムを奏でる会」と、新潟市を中心に実験音楽のライブやレコードの制作を行うExperimental Rooms、両者が協働し実現したプロジェクトは大きなつながりを生み出しました。栃木県鹿沼市でアートのスペースと宿泊施設を運営するCenterは、アーティスト、移住、起業、子育てなど複数の視点とバランス感覚により、実験的な表現活動の間口を広げています。文化をたがやすことが、地域をひらくことにどうつながっていくのか、プロセスに焦点を当てて読み解きます。

新発田市地域おこし協力隊 蟻川小百合

タイムスケジュール

13:45 集合・受付後、会場へ移動

集合場所：有機の里交流センター 駐車場
(新潟県新発田市米倉2306-1)

14:00 トークイベント開始

- 14:05 - リサーチ報告 (新発田市地域おこし協力隊 蟻川)
- 14:15 - ゲストトーク (ダムを奏でる会、Experimental Rooms、Center)
- 15:55 - ラウンドテーブル

16:10 終了予定

交流会のご案内

17:00-18:30

有機の里交流センター

参加費1,000円

おいしい米倉の食を楽しみながら
ゲストと参加者と地域住民で
交流します。
イベント申込み時に出欠を
ご回答ください。

ゲスト・プロフィール



ダムを奏でる会

全国でも珍しい中空重力式ダム(ダムの中に大きな空洞のあるダム)である内の倉ダムは大きな空洞が6カ所ある。その1カ所、長さ約40m幅約10m高さ約40mの大空洞は水の雫さえも素晴らしい音楽と化す。この空洞を大ホールと見立て反響を利用した音楽会を基本的には年一回開催する。出演者はあくまでボランティア出演で、6~8月頃に新潟県新発田地域振興局管内の住民の皆様もしくはHPで全国から公募し決定。観客は8月頃~9月中旬に募集する。ダムを奏でる会を共催者に県新発田地域整備部からダム内部の特別見学会として位置づけしていただき、新発田市や地元NPOにも支援いただきながら時間をかけ丁寧に運営している。



Experimental Rooms

2006年より国内外の気鋭アーティストを新潟に招き、地元アーティストとの共演、有形文化財や寺院等の様々な会場設定、県内外のオーディエンスからなる一期一会の音楽イベントを「エクスペリメンタル・ルーム=実験室」と捉え、これまでに50回の開催を記録。2020年より同名による作品出版レーベルとしての活動も開始。現在までに5作品を発表。佐渡でのアース・セレブレーションやさとの島銀河芸術祭との共同企画、DOMMUNE 特番や SONAR MUSICへの出演など新潟市外・県外でも実験活動の場を広げ始めている。



Center / Alternative Space and Hostel

栃木県鹿沼市にある、アーティストが運営する宿泊可能な複合施設。2022年にサウンドアーティストの河野円と映像作家の田巻真真が、会社員を辞めて東京から栃木へリターン移住し、地方都市の人通りが無くなったシャッター商店街の空き店舗をリノベーションして設立。「明日が少し楽しくなる」をキーワードに、実験映画・実験音楽を軸に既存のジャンルからはみ出した表現活動の場、新たな文化が醸成される世界で唯一無二の場所を目指している。実験的な表現の裾野を広げるため、トガリながらも地域や来訪者にも開かれた場所を子育てしつつ模索しながら運営している。2025年からアーティスト・イン・レジデンス (Center AiR) を本格始動。

申込みフォームまたは電話でお申込みください。

定員15名(先着順) 締切 10月23日(木) 17:00

トークのみ無料 / 交流会 1,000円



キッズスペースあり 見守り職員がおります (協力 コドモバ) ※別途お申込みが必要です。

トークイベントの時間内に、参加者のお子様が無料でご利用いただけます。

対象: 3歳(年少)以上※保護者と離れて一人でいられる子 定員: 10名程度(先着順)

申込み方法: メールで別途お申込みください。件名を「10/25キッズスペース申込み」として、本文に①保護者氏名②電話番号③お子様の氏名・性別・年齢(2名以上の場合も1名ずつ記載)を必ず明記してください。 締切: 10月23日(木) 17:00

キッズスペース申込み



【問合せ】新発田市地域おこし協力隊(蟻川)

電話 070-4483-7936 (平日9:00~17:00) メール chiikizukuri.ss@shibata-chiikizukuri.net